

2019~2020

THE ROTARY CLUB
OF AMAGASAKI EAST

Weekly Report

尼崎東ロータリークラブ SINCE 1974

 会 長 森本吉昭
 幹 事 三田恭男
 会 報 藤井輝男
 会 場 : ホテルヴィスキオ尼崎
 例会日 : 水曜日 12:30 ~ 13:30
<http://amagasaki-east-rc.com>
 e-mail amerc@hera.eonet.ne.jp

VOL. 46

本日のプログラム	8月28日 (2172回)	次回のプログラム	9月4日
「入会して36年目です」	久保建夫 会員	「 」	中西孝光 会員

 2019年 8月21日(水) 第2例会
 ~体操~

1. ソング 「我は海の子」

2. ビジター紹介

(小畑会員ゲスト) 大海昌栄 氏

8/14 受付

(尼崎北RC) 西村大介 氏

3. 出席報告

会員数 47名 出席数 39名

出席率 88.63% 前々回補正 100%

【本日の欠席】

浜田・兼重・近・越賀・的場・中西・山中・安田
各会員

【補填】7/31

勇・西村(嗣)・杉浦・梅崎・安田 各会員

4. 会 食

5. 会長の時間

お盆休み皆様ゆっくり休まれたでしょうか。リフレッシュできましたか。また、旅行や里帰りで逆に疲れが残っている方もおられるのではないのでしょうか。今年のお盆は、台風10号の影響で西日本は大変だったようですね。この周辺は被害がそれ程でもなく幸いでしたが、各地で夏祭りや盆踊り、また、お盆の特別な行事が取りやめとなったようです。特に徳島の夏の風物語阿波踊りは、14日夜、15日と中止となり、高校野球も15日3回戦4試合すべて順延となりました。海水浴場でも遊泳禁止となり、夏休みに楽しみにしていた子供たちもがっかりだったようです。

また、お盆の期間中に海や川で8人死亡、3人行方不明17人ケガとあくまでもわかっている数字ですが、これでも例年よりは少なかったようです。台風に関する報道が早くからされ、皆が自粛した結果の表れでしょう。「お盆は海に入ったらダメ」と言う迷信があるようですが、お盆は潮の流れが変わったり、クラゲがたくさん発生する時でもあり、危険のリスクが増えるのは事実だと思います。

お盆と言えば、先祖の霊を供養する行事として有名ですが7月と8月の二つに分かれているようです。そもそも盆の行事は、7月15日を中心として古来より執り行われていました。大きく変わったのは明治時代政府が、暦を国際標準化するため、太陰暦から現在の太陽暦に変更しました。しかし、特に農村部がある地方では、丁度農繁期に差し掛かる為、1か月遅らせて8月15日に執り行うようになりました。ここから7月のお盆(新盆)をしんぼんと呼び、8月のお盆は(旧盆)きゅうぼんと言うようになったようです。現在7月にお盆を執り行っているのは、東京、神奈川、静岡、愛知などの都市部、その他北海道、東北の一部、北陸などの都市部が中心です。その他の大部分の地域は8月にお盆を執り行っています。沖縄や奄美地方では旧暦の7月15日にお盆の行事をしているようです。

日本全国お盆の差があるようです。しきたりや考え方、作法は、地域、宗派によって異なる場合が多いようです。長崎の一部、長崎市や五島列島海沿いの地域ではお盆にお墓で花火をするという江戸時代からの風習が、伝統行事になっているようです。お墓で花火をするというのは、全国に数か所あるようです。故人を喜ばず、悪魔を振り払う、魔除けの意味もあるという事。岩手県では、墓石の上から長い昆布をたらしかけるそうです。はしご代わりにご先祖様が、あの世から帰ってくるとの事だそうです。盆踊りも地域発祥の有名なイベントになっており、日本に定着している文化になっております。そもそも先祖の霊を

ROTARY CONNECTS THE WORLD

国際ロータリー会長 マク・ダニエル・マニニ



「つながりは挨拶から」

会長 森本吉昭

2019～2020年度 第2回（8月度）理事会議事録

開催日時 2019年8月7日(水)

PM 1:35 ～PM2:30

会場 ホテルヴィスキオ尼崎 2F セーナ

出席者：森本・小野・西川・中井・久保・藤井(輝)・石本・高山・三田

欠席者：小坂・平野

記録作成者：梅崎

「報告事項」

なし

「協議・審議事項」

1. クラブ休会変更の件

2020年4月1日(水)→ ホテル使用不可の為
3月25日の休会と振替→3月25日は例会開催
4月理事会は8日に開催 承認

2. 新入会員の件

大海昌栄(おおしみしょうえい)氏
(株)大海 代表取締役 紹介者：小畑会員
上記承認

3. 協賛金の件(社会奉仕委員会)

尼崎市民まつり協賛 昨年1万 今年も1万円
協賛を承認

4. 鯖江RC60周年記念例会への参加者人選の件

先方より人数5名の指定あり。
参加者を森本会長・三田幹事・小野副会長・
田中国際奉仕委員長・西川直前会長
以上5名とすることに決定

その他

1. 出席免除の件

山中清孝会員 出席免除申請
定款9条第3節(b)該当
免除実施日 8月7日付で承認

2. 次回から6RC会長幹事会の議事録を理事会にて配布することとした

以上

会員増強月間にちなんで

マーク・ダニエル・マロニーRI会長のメッセージ

ロータリアンの皆さん

2019-2020年度、私はロータリアンとローターアクトに、ロータリーを育てようと呼びかけています。

奉仕活動やプロジェクトの影響を発展させていかなくはなりません。しかし最も重要なのは、さらに多くのことを成し遂げるために会員数を増やすことです。

会員を増強するため、今まで以上に組織的かつ戦略的に取り組んでみましょう。

さまざまな経歴を持ったメンバーで構成される、活発な会員増強委員会を各クラブで作って下さい。

それから、自分たちの地域の職業が反映されたロータリーの職業分類制度に従って、クラブを補強してくれるスキルと才能、性格を兼ね備えたリーダー候補を見つけましょう。

ロータリーの成長につながるためにも、独立したクラブでも衛星クラブでもよいので、新しい種類のクラブを結成しましょう。

今までとは違う形の例会を行い、人々の心をつかむ奉仕の機会を提供するのです。

それは、ロータリークラブがない地域だけでなく、既存のクラブがあるところにも言えることです。

地域内のあらゆる層に奉仕できるロータリークラブは存在しません。ですから、既存のクラブとつながれないでいる地域のリーダーに働きかけができるような、新しいクラブを結成する必要があるのです。

ロータリーが成長するためには、ロータリーを世界でもユニークな存在にしてくれるつながりをつくり、そのつながりを強めていくことが欠かせません。

ロータリーが世界をつなぐ中で、ロータリーのさらなる成長を促し、多様な世代の女性や男性をロータリーに迎え入れることに全力で取り組んでいきましょう

～ロータリーの友より抜粋～